

発行年月日:平成26年2月22日 発行:山口県PTA連合会広報委員会
山口県児童総数72,541人・生徒総数38,377人
(平成25年10月1日現在)

子どもの笑顔を届けたい

父ちゃん、母ちゃん、ぼくでばんごはん。
 「きょうはすき焼きだよ」と母ちゃんがなべをもつてくる。
 グツグツグツ。すき焼きがおいしそうだ。
 「いただきまーす!」ぼくが食べようとする。
 コタツの中に手を入れていた父ちゃんが、何かを見つけた。
 父ちゃんがつまみ出したのは、ぼくのくつしただ。
 「くつしたをコタツの中でぬぐな!」父ちゃんにおこられた。
 「ごめんなさい!」って言いながら、
 ぼくがコタツの中に手を入れたら、そこに何かがあった。
 「父ちゃんもくつした、コタツのなかでぬいじょらあね!」
 こんどは、ぼくが父ちゃんのくつしたをつまみ出す。
 ビックリする、父ちゃんと母ちゃん。
 「アハハ、父ちゃんもぬいじょったか。ヒロのこと、おこれんのう」
 父ちゃんが笑うと、母ちゃんがおこつた。
 「なんがアハハかね、父ちゃんもヒロも、いい加減にしんさいね!」
 でもそのあと、母ちゃんも笑つたんだ。
 「でもアハハ、父ちゃん、自分がぬいだことわすれておこつたんだ。
 おかしいねえ、アハハ」
 「おう、わすれちよつた。アハハ」
 こんどはぼくも笑つた。「アハハ、父ちゃんも母ちゃんも、面白い」
 「ヒロ、はようたべんさい。さめるよ」母ちゃんが言う。
 「いつただきまーす!」
 すき焼きが、おいしかった。

くつした

HIRO

こんなん
知っちょる?

山口県クイズ ?

今回も、山口県に関するクイズ出題。わかるかな~?
「はい」または「いいえ」で答えてね

◆第1問 山口県内には、「セメント町」という町がある。

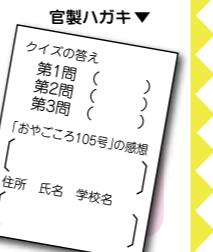
◆第2問 山口弁で「はぶてる」は、「ふてくされる」という意味である。

◆第3問 山口県で最も高い山は、十種ヶ峰(とくさがみね、山口市)である。

●応募方法

クイズの答えをハガキに記入し、「おやごころ105号」の感想、住所、氏名、学校名を記入の上、PTA連合会事務局へお送り下さい。

正解者のなかから抽選で若干名の方へ図書カード等ステキなプレゼントを差し上げます。

山口県PTA連合会事務局
〒753-0072 山口市大手町2-18 県教育会館内
締切: 平成26年3月29日当日消印有効
4月1日以降、解答をHPに掲載します。地域の大人と子どもが放課後と一緒に過ごす
文部科学大臣表彰を受けた
周南市福川地区の放課後子ども活動

福川小学校と福川南小学校がある周南市の福川地区では、周南市の放課後子ども教室コーディネーターである谷野正昭さんを中心に、PTAや民生・児童委員、婦人会、老人クラブなどあらゆる地域団体が協力し、40人もの地域の方々が常に学校に通い、週に2回、子どもたちの放課後活動をサポートしています。

このうち、福川小学校では、水曜日と金曜日、放課後子ども教室を開催しています。学校には谷野さんや福川小放課後子ども教室会長の浴中利夫さんらスタッフの部屋がきちんとあり、そこで計画や準備を進めています。

まずは図書室で宿題。ここにもたくさんの地域の大人たちがいて、子どもたちにアドバイスをしています。宿題の時間が終わると、さまざまな活動を展開します。

体育館や教室などを活用し、自由遊びやクラブ活動、班活動などに取り組んでいます。クラブ活動や班活動は全て縦割りで、上学年が低学年の世話をするためにグループ分けをしています。

クラブ活動はおりがみ、竹とんぼなどを作るものづくり、ドッヂボールやサッカーなどのスポーツ、ハンドベル、囲碁・将棋・オセロの5つがあり、子どもたちはどれかに所属して大人と一緒に楽しんでいます。また、班活動もそれぞれの班でスポーツや昔遊び、鬼ごっこなど、遊ぶテーマを決めて取り組んでいます。

土曜日には地域の公共施設である福川会館で両校合同で土曜教室を開き、地域の方を講師に自然体験教室やものづくり教室、囲碁・将棋教室などを開いています。

取材した日は宿題に取り組んだあと、自由遊びがあり、浴中さんが指導する中、飛び箱で楽しみました。浴中さんは「放課後子ども活動を通して、子どもたちは責任感や縦割りで遊ぶ大切さを学んでいます。地域の大人にとって生きがいになっています」と話しています。

福川地区放課後子ども教室は、こうした活動が高く評価され、平成24年度には文部科学大臣表彰を受賞しています。



飛び箱を指導する浴中さん



図書室で宿題に取り組む子どもたち

山口県PTA研修大会 防府大会

日本最初の天満宮を持つ山口県防府市で、平成25年度山口県PTA研修大会防府大会が開催されました。大会テーマに「みんなみんない 塩梅で幸せます。」をかけ、桑山中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏で始まりました。

講演には、教育サポーターの仲島正教先生を迎、「あーよかったな あなたがいて~『優しさ』という温かい貯金~」の演題通り、子ども達の無限の可能性と、今、我々大人がどうあるべきかをご自身の教育現場での経験からお教え頂きました。その優しさと温かさにあふれたエピソードに、涙が止まらなかったのは私だけではなかったと思います。

最後は、防府市指定無形文化財である“笑い講”で会場の私達に、幸せをまいてくださいました。防府市PTA連合会の皆様、心癒される一日を有難うございました。

平成26年度の研修大会は、10月19日(日)に宇部市で開催致します。

104号に最終面において、山口県北部地区における豪雨災害を特集した記事を掲載しました。子ども達へのインタビューに際して、十分な配慮を行っているのか、専門家の方から御指摘を受けました。広報委員会としては、県内の子どもたちへの災害危険性周知を目的として、面識のある大人が自由に話してもらう形をとるなど十分に配慮してインタビューを行いました。今後は専門家の方の御意見を取り入れ理解を深めながら、紙面づくりに取り組みたいと考えます。

編集後記

今年度も、残り1ヶ月となりました。この1年は、みなさんにとってどのような1年だったでしょうか?私は、今までこの山口県PTA連合会広報紙『おやごころ』を見る側でしたが、今年度はご縁があり広報部の一員として参加させていただきました。この活動を通して、数々の出会い、ふれあいに感謝するとともに、子どもたちの夢と希望を大切にしていく…そんな『おやごころ』を感じた1年間でした。

春にはまた、子どもたちが元気に新しい第一歩が踏み出せますように…。

山口県PTA連合会
子育て・親育て研修会

第39回山口県PTA連合会 広報紙コンクール募集!

県内小中学校PTA広報紙の充実・発展を目的とした「広報紙コンクール」を実施いたします。貴校のオリジナリティ溢れる広報紙のご応募お待ちしています。

応募資格: 山口県PTA連合会に加入する小中学校PTA
応募対象: 平成25年度中に発行された広報紙(全号一緒にご応募ください。)
提出期限: 平成26年3月31日(月)必着
※提出方法: 山口県PTA連合会事務局に直接ご持参もしくは郵送でお願いします。
※詳細は山口県PTA連合会ホームページをご覧ください。

広報紙作り方教室を開催 広報紙づくりのポイント

※次回、5/17(土)に
教育会館大ホールで
開催いたします。

山口県PTA連合会では、平成25年度も「PTA広報紙の作り方研修会」を行いました。そのとき講師を務めた山口県PTA連合会広報委員会副委員長で、フリー記者の大橋広宣の講演内容を要約してお伝えします。

■広報紙づくりは仲間づくり

広報紙は企画が最も大切です。どんな内容にするのか、何を伝えたいのか、広報の委員会でしっかりと企画会議をして、委員同士の意識を高めてください。広報紙づくりは、実は仲間づくりでもあるのです。

■記事はできるだけ明瞭に

記事を書くとき、ダラダラと書かないことです。何を伝えたいのか、基本の5W1H(いつ、どこで、だれが、なにを、どのように)を頭に置いて書くとよいと思います。

■しっかりと取材しよう

取材で大切なのは、たくさんの材料を取ること。本当に「取材」です。情報がたくさんあれば、記事も書きやすくなります。ただし、事前に何を聞くのか、記事の狙いは何か、メモなどをして明確にしておくとよいと思います。

■レイアウトも大切

その号で何がメインなのか、それによってレイアウトも変わってきます。印刷会社にお願いする場合も、何がトップなのか、写真は大きいのか小さいのかなど、アドバイスも受けながら、広報委員がしっかりと指示できればいいですね。

■写真の撮り方のポイント

写真も、何を伝えたいのか、を考えて撮ることが大切です。表彰式の写真なら、表彰される人をメインにするのか、それとも表彰する人をメインにするのか、などですね。ロングだけでなく、アップなどいろいろな角度から撮ると、選びやすくなります。子どもたちを撮るときは、なるべく子どもたちの目線と同じになるよう注意してみてください。

PTA会員の補償制度 (2013年10月現在の内容です。)

各PTA会員が加入

小学生・中学生総合保障制度 (こども総合保険・自転車総合保険)

お子さまの24時間のケガ・賠償責任・育英費用・
持ち物への補償(学校管理下のみ)・
熱中症・病気の補償(一部のプランを除く)

好評! オプションプラン

「育英費用補償増額(P)オプションプラン」
扶養者の方が不慮の事故で死亡された、または、所定の重慶後遺障害を負わされたときに、基本プランの育英費用補償を1,000万円に増額してお支払いします。(一部のプランを除く)

自転車事故による ケガの補償(傷害補償)が充実!

「自転車総合保険による補償」
自転車総合保険がセットされ、自転車事故でのケガの補償が手厚くなっています。(一部のプランを除く)

地震・噴火・津波 補償付プランも好評!

各PTAが団体で加入 山口県PTA安全互助会 (PTA団体傷害保険) (PTA賠償責任保険)

PTA行事の参加者 (※)のケガの補償 (PTA団体傷害保険)

※参加者とは
①PTA会員(保護者・教職員)
や児童・生徒
②PTA会員の同居の親族
③ボランティアとしてPTA活動に参加する方

PTA活動の遂行に起因して発生した法律上の 損害賠償金の補償(※) (PTA賠償責任保険)

※PTAと学校共催行事中に対人・対物事故が発生し、法律上の賠償責任を負った場合。

新年度に各学校を通じて加入者を募集します。*この広告は保障制度の概要を説明したもので
す。
*詳しくつきましては取扱代理店または制度引受保険会社にお問い合わせください。

制度引受保険会社 AIU損害保険株式会社

広島支店 〒730-0011 広島市中区基町11-10 ヒューリック広島紙屋町ビル2階 TEL082(222)4351
受付時間: 土・日・祝日・年末年始除く 午前9:00~午後5:00 承認番号[A-000424(2014-02)]

■お問合せ先 : 山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778

子どもとインターネットについて考える②

ネットの危険性防ぐカギは「親子間のコミュニケーション」 KDDIの大久保輝夫さんにインタビュー

前号の「おやごごろ」では、子どもとインターネットや携帯電話との関わりについて、専門家の方の「もはや持たせる、持たせないという時代ではなく、どう向き合っていくかを学ぶ時代になっている」というインタビューを掲載しました。それでは、具体的に、どう向き合えばいいのか、携帯電話会社を代表して、全国の学校やPTAの研修会などで講師を務められている、KDDIの大久保輝夫さんにお話をうかがいました。

—スマートフォンに限らず、ゲーム機や音楽プレーヤーにもインターネット機能が付いている時代となり、子どもたちにとってもネットは身近になりました。親として仕組みや使い方をどう学び、子どもに伝えればいいのでしょうか。

保護者が改めてネットの仕組みや使用法などを学ぶのは、正直、難しい面もあるのではないかと思います。それより、今の子どもたちがこうした機械を使って何をしているか、をつかむことが大事だと思います。

—と言うと?

子どもたちに大人気の音楽チューナー、i pod-touchは、実際は音楽を聞くより、多くの子どもたちがラインを使用するツールとして活用しています。まずはそういう実態をつかむことが大切ですね。

—ではラインの正しい使い方や危険性などをどう伝えればいいですか。

子どもたちは、表面上はこうした機械を器用に使いこなしているように見えますが、実は極めて危険性の認識は低いんですね。危険性やそこに潜む怖さについては、本当に鈍い、と言っていいと思います。保護者がこうした危険性を伝える力は、親子のコミュニケーションにあると思います。

—コミュニケーションですか。

そうです。あれをしなさい、こうしなさい、と決めつけで呼びかけると子どもたちは反発します。私はコミュニケーションで大切なのは量よりも質だと思っていますが、親子で「この機械をこういうふうに使うとどうなるんだろう?」とか、「もし、こんな状態になったら恐ろしいよね」とか、子どもたちに考えさせること、つまり“考える力”を持ってもらうことが、実はネットの危険性から子どもたちを守ることにつながると思います。

—“考える力”ですか。

そうです。実は、インターネットの世界で最も重要なのは、この“考える力”なんです。インターネットをコミュニケーションやビジネスのツールとして自由自在に使いこなしていくには、物事を想像する“考える力”が必要です。そのためにも、親子のコミュニケーションを通して、この“考える力”を養ってほしいですね。

—具体的には、私たちはまず、どうすればよいでしょうか。

機械の使用方法などを学ぶことは難しくても、どんなことが危険なのか、どうすれば危険な状態や犯罪につながるのか、ということはたくさん資料もあり、新聞などでもひんぱんに取り上げられていますから、是非、そういった資料を勉強してください。そして、子どもたちとしっかりコミュニケーションを取って、しっかりと親子関係を築いていただきたい。それがすなわち、ネットの危険性から子どもたちを守ることになると思います。

—よくわかりました。これから親子でしっかりと危険性について話し合い、コミュニケーションを取って親子ともどもに“考える力”を養っていきたいと思います。ありがとうございました。

各委員会活動報告

総務委員会 (三宅和彦委員長)

総務委員会の活動は、総務、財務並びに、会則諸規程の見直し、総合保障制度、安全互助会についての検討を行っています。また、平成25年8月9日から11日に徳地青少年自然の家で「ドリームチャレンジャーin徳地」を小学4~6年生を対象とした、自然・共同生活体験型のプログラムを実施しました。

今年度は県内99名の子どもたちと福島県南相馬市6名の子どもたちとが、大自然とふれあい、協力し、思いやりの心を育み、たくましく成長を成し遂げました。

健全育成委員会 (牧中マリコ委員長)

『いじめ防止標語コンクール』では530作品の応募があり優秀作品を表彰しました。またネット問題の取組として、家庭教育委員会と研修大会を開催しました。親子で学び、ルールを決め、子どもたちを守りましょう。

家庭教育委員会 (矢野アキ子委員長)

家庭教育委員会は、家庭教育の役割とPTA活動に関する事項が主な任務です。主な活動は、家庭教育に関連した研修会の実施と三行詩の募集及び審査です。平成25年度は、SNS(インターネット等)に関する諸問題についての講演会等の実施や、「楽しい子育てキャンペーン」三行詩募集などを行いました。三行詩の応募は、今年度、小、中学生、一般と合わせて約800件にのぼり関心の高さを実感し、会員一同嬉しく思っております。今後も親子、家族の絆について考え、皆様方と積極的に家庭教育について考え取り組んでいきたいと存じます。次年度以降も積極的なご参加ご協力をお願いいたします。

教育問題委員会 (木村幸子委員長)

教育問題委員会では、PTA研究指定校の選定と実績報告及び、県教育委員会との教育懇談会の開催を担っています。今年度も指定校報告書をホームページにアップする予定です。また教育懇談会は「PTAの活性化について」をテーマに、「子どもの健全育成」「地域連携」「PTAの組織運営」を話し合いました。

広報委員会 (森山亮一委員長)

広報委員会は、有益な情報の発信、他校PTA活動紹介などを目的とした広報紙を年2回発行しています。また、広報紙コンクール(次頁参照)、広報紙のつくり方研修会を開催し、各学校PTA広報紙担当者の活動支援を実施しています。